



ぱんだくみだより 3月

2022年3月1日

尚徳福祉会保土ヶ谷保育園

ぱんだ組

★大きくなりました★

あっという間に3月になり、ぱんだ組も終わりを迎えるようとしています。今までの経験を活かし、子どもたち同士で色々な遊びを考え、楽しむ事が出来る子どもたちです。今年、そこにイメージや想像したことを、友だちと共有し形にするという力が加わりました。友だちと話す中で、思いが通らずけんかになることもありました。その中で違う気持ち、違う考えがあることを知りました。相手を思う話し方も考える事が出来るようになってきています。けんかをしてすぐに仲直りが出来る。そんな友だち関係が築けているのも最高！1つ出来たことが自信になり、また次のやってみてみたいからやってみようへと続いています。毎日がお祭り♡のようなぱんだ組。残り1ヶ月も楽しみたいと思います😊

★みんなで作りたいあそび★

- ♥ドッチボール…今、とにかくブーム！休み中に「なげるれんしゅうしたよ」という報告もあります。
- ♥ドロケイ…つかまっても、逃がっている友だちにタッチしてもらったら復活！時間制限等、ルールも色々です。
- ♥リレー…バトンを渡す際に、友だちの名前を呼んで、ラインぎりぎりを走っています。



★今月の活動★

- ・お別れ会 ・卒園式
- ・幼児集会 ・避難訓練
- ・英語
- ・身体測定
- ・散歩（お弁当）



★絵本★

【おしいれのぼうけん】

押し入れに入れられてしまった、あきらとさとしの冒険のお話です。なかなか素直になれなかった2人。怖い押し入れの中の冒険も、友だちが一緒なら怖くない！とても長いお話ですが、絵本に引き込まれるように見入っていた子どもたちです。読み終わると、「っふ〜っ」と息をもらっていました。



★1年間ありがとうございました★

パワーがある子どもたちと、たくさん走り、話し、笑った1年間。本当に、あっという間でした。保護者の皆様にはたくさんご協力して頂き、ありがとうございました。どんな年長さんになるのか楽しみで楽しみで、ワクワクしています。この1年、いつも新しい「たのしい」を味わうことができました。ぱんだ組のみんなにも感謝です。これからも、いつでもどこでも応援しています。



ぱんだ組懇談会資料

早いものではぱんだ組での生活もあと1か月程になりました。日々の活動や行事、ちょっとした会話を通して、子どもたちが成長していく姿を嬉しく思いながら一緒に過ごしてきました。これからも子どもたちとの時間を大切に過ごしながら、進級に向けて準備を行っていきたいと思います。保護者の皆様には、いつもご理解とご協力感謝しております。

◎現在の子どもたちの様子

○生活面・健康

- ・身の回りのことがほとんど自分で出来るようになりました。この数年の状況もあり、手洗いうがいの習慣はかなり身につけています。又、自分の衣服や手足の汚れ等に気づき、清潔への関心が高まりました。
- ・好奇心や挑戦したい気持ちが旺盛で、鉄棒（前まわり・逆上がり・ぶら下がり遊び）・平均台・ボール遊び・リレーなど、全身をバランスよく使う運動遊びを楽しみました。
- ・食事は自分たちで運ぶ所から始まり、現在は自分でよそって持っていくようにしています。

○人間関係

- ・特定の中の良い友だちだけではなく、男女問わず交友関係が広範囲に広がってきました。友だちを積極的に遊びに誘ったり、意見を出し合ったりして遊びが広がっています。小集団からクラス全体の集団遊びへと興味のなかった子も積極的に参加するようになっていきます。
- ・友だちとの関わりでは、困っていたら助ける、仲立ちをするなど優しい言葉をかける子が見られるようになりました。理解が進み言葉がかなり発達してきている為、時にはきつい言葉も出ますが、喧嘩が始まっても、自分たちで解決できるかどうか見守っています。自分たちで話し合いで納得して解決することも増えています。解決が難しい様子があれば、間に入りお互いの気持ちを聞いています

○表現

- ・劇遊び発表会の活動を通し、自分たちのやりたいことや、セリフを考え全身を使って自己を表現する楽しさを味わうことができました。
- ・製作は自由な発想を膨らませて個性的な作品を楽しみながら作ったり、友だちとの会話の中から「やってみよう」を、楽しみながら形にしてみました。経験を重ねたことで空想ではなく体験したことを表現できるようになっています。

○食事

- ・好みははっきりしていますが、友だちが食べている姿や、「おいしいよ」と言われ食べている姿も見られます。運動量も増えたことにより、全体的に良く食べています。給食室が前にもあり、毎日給食の先生方とメニューの話やクイズ等、楽しみながら食べ物についての知識を吸収しています。

◎きりん組に向けて

何でも自分で出来る、やってみよう。そんな気持ちがどんどん大きくなってきている子どもたちです。これからもっと、新しい発見や経験をし、友だちと考えやイメージを共有しながら、様々な方法で遊びを表現できるようになっていくと思います。日々の中で、大人の言葉掛けや介入は少なめにし、子どもたちが考え気付けるよう、様子を見守っていきたいですね。友だちと、一緒に何かを考えだし工夫することが好きな子どもたちです。きっと素敵な年長さんになってくれると思っています。